

議事要旨(3) IASB公開草案「投資企業：連結の例外の適用」へのコメント対応

冒頭、新井副委員長(企業結合、連結・特別目的会社専門委員会専門委員長)より、IASB公開草案「投資企業：連結の例外の適用」へのコメント対応案についての概要説明があり、その後、太田専門研究員より、「IASB公開草案「投資企業：連結の例外の適用」へのコメント・レター(案)」について詳細な説明がなされた。

「IASB公開草案「投資企業：連結の例外の適用」へのコメント・レター(案)」に対する委員からの主な意見等は次のとおりである。

- ある委員より、次の発言があった。
 - ・ コメント・レター(案)の記載内容を支持する。また、今回の質問事項ではないが、全般的なコメントの中の「その他」で記載している、IASBの2011年4月の公開草案「投資企業」へ記載している「投資企業ではない親会社」の連結財務諸表上「投資企業である子会社」の会計処理を引き継げないことに対しては従来から懸念を持っており、コメントすることを支持する。
- ある委員より、次の発言があった。
 - ・ 質問3に関しては、本提案では、投資先が関連会社と共同支配企業かで不整合を生じさせることから、コメントの方向性を支持する。
 - ・ 質問2に関しては、現在のコメント・レター(案)では、「投資企業である子会社」を公正価値測定することに対して否定的な意見であると理解したが、第三者へ投資関連サービスを提供している投資企業である子会社に限って子会社自体の公正価値測定を否定していると読める記載もあるので、一貫した記載にすべきである。

最後に、新井副委員長から、本日頂戴したご意見も踏まえて英文化作業を行い、次回委員会では英文版のコメント・レター案も提示してご了承いただいた上で、IASBに提出する予定である旨の説明があった。

以 上